

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めざせ、均等待遇、なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

仲よく楽しく、ともに闘う一年をめざすは非正規労働者の復権と職場労働条件の早急な改善です

未来

郵政産業ユニオン
PIWU

全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 3616
16年1月5日(火)
・Fax 095-828-1953



謹賀新年！

安保法制と不当な労働法制改悪と闘う新しい一年が始まりました。この一年また皆さんとともに、この職場で仲良く働き、せいっぱい郵政ユニオンの運動をします。

どうかよろしくお願いいたします。

今年の干支は申(さる)年です。日

本での猿は「見ざる、聞かざる、言わざる」の象徴ですが、しかし、これではなにも変わりません。であれば、モノ言う猿「いつも見てござるや言うでござる」として働き、活動します。

この一年は、憲法違反の戦争法＝安保法制の廃止を目指して闘う年です。その一番が七月に予定される参議院選挙に勝つことです。そのためには野党が全国で「統一候補」を立てることを最優先に、国民とともに闘う選挙をめざす労組と政党であってほしいと思います。長崎でもこれを追求し、郵政ユニオンも頑張ります。

第二に、日本の働く人を苦しめている非正規雇用との闘いです。これを放置することは、今日の権利侵害だけでなく、明日の若者の希望を奪うことで、労組としては許されません。これは許されません。

その他、郵政ユニオンは、郵政で働く人の

の希望者全員の正社員化を要求します。



次に労働契約法二〇条にいう均等処遇をかちとりませう。

具体的には差別処遇の就業規則の改正を会社へ要求します。また差別的な不合理処遇の撤回を求め、労働契約法二十条裁判を闘います。これは郵政で働く二十万人契約社員全体の「復権」と、人らしく生きるために必要かつ正しい闘い입니다。

第三です。郵政ユニオンはもともと公務員と正社員の組合でしたが、現在の支部は身分も社員で、組織の半数以上は非正規です。

私自身も二年契約の短時間職員で、不安定雇用の痛みを実感しています。だからこそ女性ながら大役の長崎中郵の支部長と中央執行委員を兼務

しつつ、非正規雇用の仲間の声に耳を傾け、ともに悩み、ともに解決する運動を目指しています。

日本郵政は〇七年に民営化されましたが、去年までは100%の株主は国でした。しかし、去年十一月に株式を上場し、本格的に民間会社になりました。これからは一層の競争と合理化(効率化)を求め、株主＝強欲資本主義の圧力がかかりませう。

国営、公営の他企業の民営化の例を見れば、数年先の日本郵政の姿は一目瞭然です。JRもJTBもNTTも、民営化後、多くの子会社をつくり、出向、配転、早期退職、条件の切り下げ攻撃が待っていました。労使協調だけでは働く人の権利も身分も守れません。事実、民営化後のJRやNTTの連合労組もストをうちました。

去年夏、この郵政民営化の先を行く世界最大の郵便会社「ドイツ・ポスト」では10%の賃下げや規制緩和攻撃がかかり、これに反対して労組が四十六日間もストを打ち、これを打ち破りました。日本では報道されませんが、働く人は闘っていますし、闘わなくては生きていけない時代がやってくるのです。

郵政ユニオンはこれを自覚し、郵政に働くすべての人々に共に闘おうと訴えます。これが新年の決意です。今年も仲良く、楽しく、働きませう。

飛躍の一年に、頑張らう。

二〇一六年一月五日
郵政産業労働者ユニオン
長崎中郵支部長
高口美和子
他執行委員会一同

*** **

郵政ユニオン長崎旗開き
日時：一月九日(土)



場所：長崎地区労会館
会費：二千円、非正規、家族千円です。

長崎地区労旗開き
日時：一月五日(火) 十八時
場所：セントヒル長崎

長崎県労連旗開き
日時：一月八日(金) 十八時
場所：勤労福祉会館